

<2016 年度事業報告>

I. 事業の概要

公益社団法人日本ガスタービン学会は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律により認定された公益目的事業（事業番号：公1）「ガスタービン及びエネルギー関連技術の発展とその普及・振興を目的とする事業」を行う。2016年度（2016年3月1日～2017年2月28日）は下記を実施した。

(1) 研究発表会及び学術講演会等の開催（定款第4条1号）

時 期	名 称	内 容	場 所	参加者数	演題数
2016/4/15	特別講演会	勿来 IGCC の運転状況と次期大型 IGCC の建設計画	川崎重工業(株)東京本社ビル	79 名	1
2016/5/24	第 1 回日本ガスタービン学会女性活躍推進イベント	GT 業界の各社における女性活躍推進の取り組み紹介と意見交換	(株) I H I 本社ビル	29 名	—
2016/7/7-8	第 27 回ガスタービン教育シンポジウム	若手技術者および学生の教育（講義および施設見学）	(株) I H I 航空宇宙事業本部瑞穂工場昭島事業所	76 名	7
2016/7/21	第 1 回見学会	設備見学および技術懇談会	(国研)海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所	15 名	—
2016/9/8-9	第 28 回ガスタービン教育シンポジウム	若手技術者および学生の教育（講義および施設見学）	川崎重工業(株)明石工場	57 名	7
2016/10/15	第 1 回ガスタービン市民フォーラム	ジェットエンジンの仕組みと中味	東京ビッグサイト 会議棟 1 階 102 号室	110 名	1
2016/10/25	第 2 回ガスタービン市民フォーラム	ジェットエンジンとは？—ジェットエンジンの歴史から最新技術まで—	鶴岡市先端研究産業支援センター レクチャーホール	119 名	1
2016/10/26-28	第 44 回日本ガスタービン学会 定期講演会・見学会	会員の研究・開発成果の発表, 定期講演会講演論文集発行(170 部)	ホテルリッチ&ガーデン酒田	165 名	63
2016/11/14-16	Asian Congress on Gas Turbines 2016	講演発表会、国際交流（共催）	インド工科大学ボンベイ校	158 名	117
2016/11/29	第 2 回日本ガスタービン学会女性活躍推進イベント	GT 業界の各社における女性活躍推進の取り組み紹介と意見交換	川崎重工業(株)明石工場	26 名	—
2016/12/2	第 2 回見学会	設備見学および技術懇談会	(株)扇島パワー 扇島パワーステーション	28 名	—
2017/1/26-27	第 45 回ガスタービンセミナー	「ガスタービンおよび航空エンジンの最新技術動向」, セミナー資料集発行 (150 部)	本田技研工業(株) 和光本社ビル 1F 会議室	122 名	11
2017/2/17	第 1 回若手技術者交流会	ガスタービン専門分野の講義と技術者同士の交流	川崎重工業(株)明石工場	33 名	1

(2) 学会誌及び学術書の刊行（定款第4条2号）

図 書 名	発行年月日	発行部数
日本ガスタービン学会誌	2016/3/18, 5/20, 7/20, 9/20, 11/18, 2017/1/20	2, 370
International Journal of Gas Turbine, Propulsion and Power Systems	2016/5, 7, 12, 2017/2	Web 掲載

(3) 内外関連学協会との連携並びに協力（定款第4条3号）

2016年度に継続して共催・協賛した行事は37件であり、新規のものは下記の4件である。

種類	開催時期	名 称	場 所	関連団体名
協賛	2016/9/27	第1回 WEATHER-Eye オープンフォーラム「航空輸送を特殊気象（雪氷・雷・火山灰等）から守るために」	東京大学 武田ホール	気象影響防御技術コンソーシアム
協賛	2016/10/12	第1回ポスト「京」重点課題⑥シンポジウム「世界最先端のスーパーシミュレーションで革新的クリーンエネルギーシステムの実用化を加速する」	東京大学 弥生講堂 一条ホール	東京大学大学院工学系研究科 ポスト「京」重点課題⑥プロジェクト
協賛	2016/10/31-11/2	第15回世界風力エネルギー会議2016 東京	東京大学 安田講堂・山上会館	WWEC2016Tokyo 組織委員会
協賛	2016/11/1-2	SIP「革新的構造材料」マテリアルズインテグレーションシンポジウム2016	東京大学 駒場リサーチキャンパス An棟コンベンションホール	国立研究開発法人 科学技術振興機構

また、ASME/IGTI が開催する Turbo Expo 2016 の展示会に事務局職員を派遣するとともに学会のブースを開設して、情報発信および関連機関との交流を行った。

(4) ガスタービン及びエネルギー関連技術に関する研究、調査（定款第4条4号）

名 称	実 施 期 間	調 査 内 容
「国産ガスタービン・過給機生産統計（2019年版）」の資料収集・発行	毎年度継続して実施中	我国におけるガスタービン及び過給機の生産に関する資料を収集し、纏めると共に、結果を学会誌に掲載した。
ガスタービンを考える会の開催	毎年度継続して実施中	産業用および航空用ガスタービン技術の方向性や戦略について調査検討し、学会版技術ロードマップの改訂、プロジェクト案の策定、実現方策・体制案の検討などを行った。
ガスタービン研究開発プロジェクトに関する調査研究	2014年度から継続して実施中	独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）で採択されたプロジェクトの実施報告をまとめ、学会誌および定期講演会で活動を紹介した。また、次年度のNEDOプロジェクト提案をまとめた。
産官学連携に関する調査研究	毎年度継続して実施中	技術開発における産官学連携の現状や課題を調査し、有機的連携やプロジェクト実現の方策を検討した。また、地方企業との懇談会を実施し、有効な産官学連携のスキームを検討した。

(5) 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款第4条5号）

ガスタービン及びエネルギー関連技術に関連した研究及び技術開発を奨励するため、2年に一度、優れた研究、技術に対して、ガスタービン学会賞（論文賞、技術賞、奨励賞）を授与している。2016年度は、学会賞審査の年度にあたらないため、審査を行なわなかった。若手人材育成のため、第44回日本ガスタービン学会定期講演会において優れた研究発表を行った学生（2名）を表彰（日本ガスタービン学会学生優秀講演賞）した。また、ACGT2016において講演発表する若手研究者の参加費・旅費の一部助成（2名）、第44回日本ガスタービン学会定期講演会において講演発表する学生の交通費の一部助成（15名）を実施した。

名 称	受賞内容 ・ 受賞者
2016 年度日本ガスタービン学生優秀講演賞	堀川 将大 (首都大学東京大学院) 「レーザービーム積層造形法により作製した IN718 の組織と強度特性」
2016 年度日本ガスタービン学生優秀講演賞	鈴木 晃純 (東北大学大学院) 「150kW 級高湿分空気利用マイクロタービンの動作解析」

(6) その他本学会の目的を達するために必要な事業 (定款第 4 条 7 号)

ガスタービン及びエネルギー関連技術普及の一環として、2013 年に発行したテキスト「ガスタービン工学」の改訂作業に入った。また、ホームページでの学会刊行物閲覧システムを構築した。

II. 運営組織の概要

1. 役員・会員・職員

(1) 役員 (理事、監事)

2017 年 2 月 28 日現在

役 名	氏 名	常勤・非常勤	就任年月日	手当	担当業務	所 属
会 長 代表理事	久山 利之	非常勤	2015/4/21	なし	業務の総括	川崎重工業(株)
副会長 代表理事	船崎 健一	非常勤	2016/4/15	なし	業務の総括	岩手大学
執行理事	今成 邦之	非常勤	2016/4/15	なし	法人管理 総務	(株) I H I
執行理事	太田 有	非常勤	2016/4/15	なし	法人管理 企画 (兼務) 公 1 (3) 表彰・助成	早稲田大学
執行理事	安田 聡	非常勤	2015/4/21	なし	法人管理 財務	三菱日立パワーシステムズ(株)
執行理事	木下 康裕	非常勤	2015/4/21	なし	法人管理 ガバナンス コンプライアンス	川崎重工業(株)
執行理事	渡辺 紀徳	非常勤	2016/4/15	なし	法人管理 国際関係 公 1 (1) 国際会議 (兼務)	東京大学
執行理事	西澤 敏雄	非常勤	2015/4/21	なし	公 1 (1) 学術講演会	(国研) 宇宙航空研究開発機構
執行理事	輪嶋 善彦	非常勤	2015/4/21	なし	公 1 (1) 集会行事	(株) 本田技術研究所
執行理事	細川 哲也	非常勤	2015/4/21	なし	公 1 (1) 集会行事	(株) J A L エンジニアリング
執行理事	藤井 智晴	非常勤	2015/4/21	なし	公 1 (1) 技術普及	(一財) 電力中央研究所
執行理事	吉田 英生	非常勤	2015/4/21	なし	公 1 (2) 学会誌編集	京都大学
執行理事	野崎 理	非常勤	2015/4/21	なし	公 1 (2) 論文	高知工科大学
執行理事	小森 豊明	非常勤	2015/4/21	なし	公 1 (2) 調査研究	三菱重工業(株)

執行理事	山根 秀公	非常勤	2016/4/15	なし	公1(2) 広報	防衛装備庁
理事	松沼 孝幸	非常勤	2016/4/15	なし	公1(1)	(国研)産業技術総合研究所
理事	原田 広史	非常勤	2015/4/21	なし	公1(2)	(国研)物質・材料研究機構
理事	渋川 直紀	非常勤	2016/4/15	なし	公1(2)	(株)東芝
理事	松崎 裕之	非常勤	2014/4/18	なし	公1(2)	酒田共同火力発電(株)
理事	田尻 敬次	非常勤	2016/4/15	なし	公1(2)	(株)荏原エリオット
監事	坂田 公夫	非常勤	2015/4/21	なし	業務監査	SKYエアロスペース研究所
監事	渡辺 康之	非常勤	2015/4/21	なし	業務監査	元(株)IHI

(2) 会員

会員種別	会 員 数		増減数
	本年度末 2017年2月28日現在	昨年度末 2016年2月29日現在	
正会員	1995名	2016名	△21名
賛助会員	110社(142口)	105社(139口)	5社(3口)
学生会員	65名	83名	△18名
終身会員	45名	43名	2名
名誉会員	47名	49名	△2名

*正会員増減数には、定款第11条及び会員に関する規程第15条による「資格喪失者」3名減を含む。

(3) 職員

2017年2月28日現在

常勤職員 1名、 嘱託職員 2名、 アルバイト 2名

2. 役員会等

(1) 理事会

開催月日	議 事 事 項	会議の結果
2016/3/16	1) 会員入退会の件 2) 財務状況報告の件 3) 2015年度事業報告および附属明細書(案)の件 4) 2015年度計算書類および財産目録(案)の件 5) 2016年度事業計画および予算(改訂案)の件 6) 次期役員・委員長候補者(案) 7) 委員会構成案 8) 規程類作成管理規程(案) 9) 2015年度通常総会の件 10) 事務局長辞令の件 11) 嘱託職員の契約の件 12) 代表理事・執行理事報告 13) 2015年度監事監査報告 14) 他学協会等からの協賛依頼行事の件	全会一致で承認/確認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 了承 了承 了承

4) 生産統計データ取扱に関する件	全会一致で承認
5) 2017 年度事業計画の件	全会一致で承認
6) 2017 年度予算の件	全会一致で承認
7) IGTC2019 開催場所選定の件	全会一致で承認
8) 日本応用数学会へのサポートレター発信の件	全会一致で承認
9) 2017 年度第 1 回ガスタービン市民フォーラム共催の件	全会一致で承認
10) 常勤専任職員の給与支給額の件	全会一致で承認
11) 代表理事・執行理事報告	了承
12) 他学協会等からの協賛依頼行事の件	了承
13) 要領等制定・改定・廃止の件	了承
14) 特定費用準備資金計画の金額変更について	了承
15) 運営委員会報告	了承
16) 企画委員会報告	了承
17) 自己点検委員会報告	了承
18) 国際委員会報告	了承
19) 集会行事委員会報告	了承
20) 技術普及委員会報告	了承
21) 学会誌編集委員会報告	了承
22) 産官学連携・調査研究委員会・GT を考える会報告	了承
23) 広報委員会報告	了承
24) 事務局報告	了承
25) 2016 年度第 7 回理事会議事録	全会一致で承認

(2) 総会

開催月日	議 事 事 項	会議の結果
2016/4/15	公益社団法人 日本ガスタービン学会 2015 年度通常総会 第 1 号議案： 計算書類および財産目録の件 第 2 号議案： 理事選任の件 第 3 号議案： 終身会員候補者の件	賛成過半数により承認 賛成過半数により承認 賛成過半数により承認

3. 各委員会の活動

(1) 倫理規定委員会

委員長 木下 康裕 他 4 名 開催 2 回

倫理規程 (12R1-01) を見直すと共に、倫理規定委員会運営要領 (12G1-01) を発行した。さらに、個人情報保護規程 (12R1-02) と個人情報保護方針 (12-G2-02) についても改定した。

(2) 自己点検委員会

委員長 木下 康裕 他 4 名 開催 2 回

2016 年度において日本ガスタービン学会が主催した事業について、各事業主体の委員会に自己点検チェックリストに基づく自己点検を依頼し、その結果について確認した。

(3) 運営委員会

委員長 今成 邦之 他 11 名 開催 7 回

庶務、会計、渉外、その他学会運営に関する事項を担当した。

(4) アドバイザリー委員会

委員長 佃 嘉章 他 43 名 開催 1 回

2015 年度および 2016 年度の活動状況、産官学連携活動と NEDO プロジェクト、IGTC2015 実施報告の各概要説明を受け、議論を行った。

(5) 企画委員会

委員長 太田 有 他 8 名 開催 4 回

規程類の体系表を順次更新して、最新の状況を運営委員会および理事会に報告する体制を構築した。若手会員や学生会員の増強、セミナー・講習会の新設を含む学会活性化案について協議した。また、若手技術者交流会開催の支援を行った。競争法に基づくコンプライアンス指針の制定に向けて関係個所と協議を行い、統計資料集取扱いWGの設置を提案した。

(6) 国際委員会

委員長 渡辺 紀徳 他 12 名 開催 5 回

6月に韓国ソウルで開催されたASME Turbo Expo 2016に展示ブースを出展した。IAC (International Advisory Committee)の委員の見直しを行い、新たなメンバーでIACミーティングをASME Turbo Expo 2016会期中に開催した。7月には韓国および中国からIAC委員を招待し、アジア地域における協力関係の更なる発展について討論を行った。11月にムンバイ(インド)で開催されたACGT2016では組織委員会のミーティングに参加し、次回のACGTを2018年に日本で開催することを正式に決定した。IGTC2019の開催に向けて、準備委員会を学会臨時委員会として設置した。

(7) 学術講演会委員会

委員長 西澤 敏雄 他 12 名 開催 4 回

第44回日本ガスタービン学会定期講演会を酒田市のホテルリッチ&ガーデン酒田で開催し、見学会(酒田共同火力発電(株)等)を実施した。また、ガスタービン市民フォーラム2016を鶴岡市先端研究産業センターにて開催した。

(8) 集会行事委員会

委員長 輪嶋 善彦 他 14 名 開催 7 回

若手技術者および学生を対象とした第27回教育シンポジウム(㈱IHI 航空宇宙事業本部 瑞穂工場/昭島事業所)並びに第28回教育シンポジウム(川崎重工業(株) 明石工場)(いずれも2日間)、設備見学および技術懇談会を目的とした第1回見学会((国研)海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所)並びに第2回見学会((株)扇島パワー 扇島パワーステーション)(いずれも半日)、「ガスタービンおよび航空エンジンの最新技術動向」をテーマとした第45回ガスタービンセミナー(本田技研工業(株) 和光本社ビル)(2日間)、若手技術者を対象にガスタービン専門分野の講義と技術者同士の交流を目的とした新企画 第1回若手技術者交流会(半日)等の企画・実施・資料集発行を行った。

(9) ガスタービン技術普及委員会

委員長 藤井 智晴 他 12 名 開催 7 回 (内 E-mail 会議 6 回)

定期講演会と併催するガスタービン市民フォーラムの講師選定、総会后特別講演会の講師選定・依頼を行い、それぞれの行事の担当委員会に答申した。また、2016年国際航空宇宙展(JA2016)のパブリックデーにおいてガスタービン市民フォーラムを企画・実施した。さらに、教科書「ガスタービン工学」の改訂版の発刊に向けて、改訂原稿の作成、取りまとめを行うとともに、自己学習システムの構築など、改訂後の教科書を使用したソフト面での充実・推進などのアクションプランを検討した。

(10) 学会誌編集委員会

委員長 吉田 英生 他 26 名 開催 6 回

学会誌の企画・編集・発行に関する事項(特集記事の企画・執筆依頼・校正、各号の編集・発行等)を担当した。特集として、2016年3月「燃焼現象」、2016年5月「ガスタービンの活躍の場」、2016年7月「水素エネルギー利用社会への歩み、ガスタービンと燃料電池の最新情報」、2016年9月「ガスエンジン、ディーゼルエンジンとガスタービン」、2016年11月「大型プロジェクトに学ぶ:航空機エンジン及び発電タービン技術・産業の将来への提言」、2017年1月「発電用大型ガスタービンの開発動向、第44回定期講演会(酒田)特集」を企画・編集し、研究・開発・設計技術者からユーザー各社の技術者まで、幅広い読者に関心を持って頂ける内容となるように努めた。また、関連規程類の制定と見直しを行った。

(11) 論文委員会

委員長 山根 敬 他 11 名 開催 7 回 (内 E-mail 会議 5 回)

学会に投稿された和文及び英文技術論文の査読、電子版英文論文集 International Journal of Gas Turbine, Propulsion and Power Systems (略称 JGPP) の編集・発行を行った。また、IGTC2015 発表論文のうち JGPP へそのまま掲載することを認める論文を選定・審査した。

(12) ガスタービン統計作成委員会

委員長 小森 豊明 他 10 名 開催 2 回 (内 E-mail 会議 1 回)

2015 年の国産ガスタービン及び過給機生産に関する統計資料をまとめ、学会誌 Vol. 44 No. 4 に掲載した。

(13) 産官学連携委員会

委員長 渡辺 紀徳 他 14 名 開催 2 回

ガスタービン・ジェットエンジンに関する研究開発プログラムの具体化方策や、学会の産官学連携促進活動について検討を行った。ガスタービンを考える会で作成している研究開発プロジェクト案を実現させる方策について審議・助言を行った。調査研究委員会と連携して、前年度に実施した「再生可能エネルギー大量導入時代の系統安定化対応先進ガスタービン発電設備の研究開発」の報告をまとめた上、次年度以降の新たなプロジェクトの提案を検討した。また、酒田市で地元企業との技術懇談会を実施し、産官学連携の促進を図った。

(14) 広報委員会

委員長 山根 秀公 他 6 名 開催 3 回 (内 E-mail 会議 3 回)

昨年度定まった方針に基づき国立情報学研究所(NII)が運営する電子図書館 CiNii 関連の事務を執行するとともに、学会HPのコンテンツ充実化の具体案を検討した。

(15) 表彰委員会

委員長 船崎 健一 他 6 名 開催 3 回 (内 E-mail 会議 3 回)

学術講演会委員会と協力して、定期講演会で講演発表する学生の交通費の一部助成を実施し、さらに同委員会と協力の下、学生優秀講演賞の選定と表彰を行った。インドで開催された ACGT2016 で講演発表する若手研究者に対して、交通費と宿泊費の一部助成を実施した。

(16) 名誉会員候補者選考委員会

委員長 久山 利之 他 6 名 開催 1 回

規定に従って名誉会員候補者を選考し、候補者原案を運営委員会に提案した。

(17) 終身会員候補者選考委員会

委員長 久山 利之 他 4 名 開催 1 回

規定に従って終身会員候補者を選考し、候補者原案を運営委員会に提案した。

(18) 次年度役員候補者等推薦委員会

委員長 船崎 健一 他 4 名 開催 3 回 (内 E-mail 会議 2 回)

2017 年度に就任する理事ならびに各委員会委員長の候補者の人選を進め、理事会へ推薦を行った。

(19) 将来ビジョン検討委員会

委員長 寺本 進 他 9 名 開催 2 回

学会の役割や課題について自由な意見交換を行い、本委員会で行うべきテーマについて検討を行った。

(20) 女性参画推進委員会

委員長 仲俣 千由紀 他 4 名 開催 5 回 (内 E-mail 会議 2 回)

「GT 業界の各社における女性活躍推進の取り組み紹介と意見交換会」と題したイベントを 5 月に関東 ((株)

IHI 本社)で1回、11月に関西(川崎重工業(株)明石工場)で1回、計2回実施した。イベントでは委員を中心とした女性学会員から、所属組織における女性活躍推進の取り組みを紹介いただき、その後意見交換を行うという内容で実施し、異なる環境、立場の参加者の情報や意見を共有することができた。

(2 1) IGTC2015 実行委員会

委員長 渡辺 紀徳 他 51 名 開催 1 回 (全体会議)

前年度に開催した International Gas Turbine Congress 2015 Tokyo (IGTC2015 Tokyo) の実施報告書を発行した。業務完了により委員会を解散した。

(2 2) ACGT2016 実行委員会

委員長 山根 敬 他 4 名 開催 7 回 (内 E-mail 会議 2 回)

2016 年 11 月にムンバイ (インド) で開催された ACGT2016 について、会告で講演募集を行うとともに、表彰委員会と連携して若手助成を実施した。ASME Turbo Expo 2016 の期間中には、インド、韓国、中国、日本の ACGT 関係者がミーティングを行い、ACGT2016 の準備状況を確認した。フォーラム講演について、日本から 2 名の講演者を選定した。11 月 14 日から 16 日の会期中、14 日に開催された関係者ミーティングで 2018 年に次回の ACGT を日本で開催することを提案して了解され、翌日の Banquet の席上で渡辺国際委員長と共に ACGT2018 の日本開催を宣言した。

(2 3) IGTC2019 準備委員会

委員長 西澤 敏雄 他 6 名 開催 1 回 (内 E-mail 会議 1 回)

次回国際会議の開催に向けて開催場所を検討した。検討結果を理事会で審議し、2019 年 11 月 17 日から 22 日の日程で虎ノ門ヒルズ (東京都港区) において国際会議の講演会を開催することを決定した。

(2 4) 調査研究委員会

委員長 壹岐 典彦 他 14 名 開催 11 回

産官学連携委員会およびガスタービンを考える会と連携しながら、前年度に実施された独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) 事業「再生可能エネルギー大量導入時代の系統安定化対応先進ガスタービン発電設備の研究開発」の概要を学会誌に掲載した。また、国家プロジェクトの立ち上げに向けて研究開発内容についてより具体的な検討を進め、関連する研究開発について検討を行い、NEDO に情報提供及びプロジェクト提案を行った。